

# 新聞販売店が処方薬配送

## 配車アプリ 運転者不足の受け皿に

### ラストワンマイルS

ラストワンマイルソリューション(近藤正幸社長、東京都中央区)は4月から、東京23区の調剤薬局に向けて配車アプリの提供を本格的に開始する。処方薬の受け取り方法が多様化していることを受け、同社が組織している新聞販売店ネットワークを使い、処方薬を個人宅まで即日届ける配送サービス「まちはい」をスタートさせる。

医療業界では診療や服薬指導、処方せんのオンライン化が進んでおり、自宅で処方薬を受け取ることも可能になっている。重症者や高齢者、子育て世帯には利便性が見込めることから、新聞販売店のスタッフが配送を請け負うことにより、顧客の調剤薬局、患者、新聞販売店の3者がメリットを等しく享受できるスキームを構築した。

同社は、高齢化社会の急速な進展などを背景に処方薬の配送ニーズが増加していくと認識。地域に密着した事業を長年にわたり手掛ける新聞販売店の信用力を生かし、新聞の配達を行わない時間帯を利用して処方薬を届ける。配送のプロである販売店のスタッフが業務を行うことで高品質を担保するとともに、集金の要請にも対応するなど顧客にも使い勝手の良いサービスを提供。まずは東京23区で先行するが、段階的に全国展開していく。

新聞販売店は読者離れによる部数の減少に直面しており、処方薬の配送を受託することで新たな収入源を確保する。更に、トラックドライバー不足の受け皿を担うことで、業務を下請けに委ねる物流業界の多段階構造が解消し、低コスト化や環境対応に結び付くとしている。

2017年5月に設立されたラストワンマイルソリューションは、社名に冠する

業務を行うことで高品質を担保するとともに、集金の要請にも対応するなど顧客にも使い勝手の良いサービスを提供。まずは東京23区で先行するが、段階的に全国展開していく。

新聞販売店は読者離れによる部数の減少に直面しており、処方薬の配送を受託することで新たな収入源を確保する。更に、トラックドライバー不足の受け皿を担うことで、業務を下請けに委ねる物流業界の多段階構造が解消し、低コスト化や環境対応に結び付くとしている。

2017年5月に設立されたラストワンマイルソリューションは、社名に冠する

(沢田顕嗣)